

早稲田大学各務記念材料技術研究所オープンセミナー

主 催：早稲田大学 各務記念材料技術研究所

協賛学会：日本物理学会、応用物理学会、日本鉄鋼協会、高分子学会、日本液晶学会、日本材料学会、日本表面真空学会、日本鋳造工学会、粉体粉末冶金協会、電気学会、日本機械学会、軽金属学会、日本原子力学会、日本分光学会、腐食防食学会、石油学会、日本金属学会、電力技術懇談会、早稲田物理会、早稲田電気工学会、早稲田応用物理会、早稲田応用化学会（順不同）

テーマ：

「機械学習とマテリアルズインフォマティクスに立脚した物性研究と材料探索の新潮流」

近年急速に発達している情報科学は、物性や材料の研究分野においても革新的な潮流を生み出しています。機械学習やマテリアルズインフォマティクスといったデータサイエンスの手法が、物性科学や物質・材料の探索にどのように生かされ、どのような成果が上がってきているのか、専門家の先生方に分かりやすく講演していただきます。

1. 日時：2019年11月11日（月）13:00～18:00（開場12:00）
2. 会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス63号館04・05会議室
（東京都新宿区大久保3-4-1）
3. プログラム：

時間	講演題目等	講師等
13:00～13:05	所長挨拶	各務記念材料技術研究所 所長 大木 義路
13:05～13:10	開会挨拶・趣旨説明	勝藤 拓郎（運営委員長・早稲田大学教授・各務記念材料技術研究所研究員）
13:10～14:00	「データ駆動による新材料の発見」	田中 功 氏 （京都大学工学研究科材料工学専攻）
14:00～14:50	「機械学習で挑む永久磁石の予測と理解」	三宅 隆 氏 （国立研究開発法人産業技術総合研究所）
14:50～15:40	「不完全な実験データを用いたデータ同化結晶構造探索」	常行 真司 氏 （東京大学理学系研究科物理学専攻）
15:40～16:00	休憩（コーヒーブレイク）	
16:00～16:50	「深層学習を用いた量子相転移の研究：ニューラルネットが描いた相図」	大槻 東巳 氏 （上智大学理工学部機能創造理工学科）
16:50～17:40	「物理のグランドチャレンジに機械学習は役立つか？ —量子多体問題と高温超伝導」	今田 正俊 氏 （豊田理化学研究所・早稲田大学理工学術院）
17:40～17:45	閉会挨拶	菅原 義之（運営副委員長・早稲田大学教授・各務記念材料技術研究所研究員）
18:00～20:00	交流会（63号館1階ロームスクエア）	

4. 対象：本学学生、教職員、一般 / 参加費：無料
5. 定員：150名（定員になり次第締め切らせていただきます）
6. 申込み手続き：材研ホームページの申込みフォームにてお申し込みください。
URL: <https://www.waseda.jp/fsci/zaiken/news/3186>
7. お問い合わせ先：早稲田大学各務記念材料技術研究所 オープンセミナー係（担当：岡田、藤島）
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-8-26
Tel:03-3203-4782 Fax:03-5286-3771 E-mail zaikenjimu@list.waseda.jp
8. 申込み締切：11月5日（火）正午（締切以降に参加ご希望の方は、直接会場へお越しください）

会場へのアクセス

東京メトロ副都心線	西早稲田駅 3番出口（早大理工連絡口）直結
JR 山手線 東京メトロ東西線 西武新宿線	高田馬場駅 徒歩 15分
JR 山手線	新大久保駅 徒歩 12分
都営地下鉄大江戸線	東新宿駅 徒歩 15分
都営バス（池 86・早 77・高 71）	早大理工前

地図

